

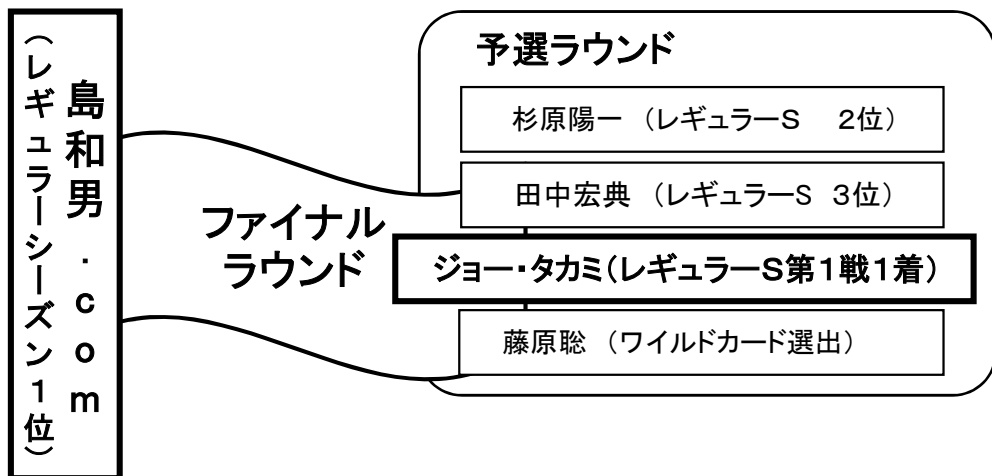
島和男.com3度目の正直！ ジョー・タカミをフルセットの末

島和男.com（レギュラーシーズン優勝）
VS
ジョー・タカミ（レギュラーS第1戦1着）

2017年の掉尾を飾るWBF千里シリーズは10月28日、WBFの新たな聖地‘フタバボウル’で開催された。

半年に及ぶレギュラーステージを勝ち抜いた島和男.com選手への挑戦権を賭けて、まず行なわれた4名参加の予選ラウンド。シーズン最終戦で島和男.com選手に逆転され総合優勝を逃した杉原陽一選手、関東軍からの刺客田中宏典選手、最終戦2着と決戦に向けて調子を上げてきたジョー・タカミ選手、そしてワイルドカード枠で藤原聡選手、と多士済々。

続いて、島和男.comVSジョー・タカミのどちらが勝っても千里シリーズ初制覇となる対戦となった3勝先取方式のファイナルラウンドでは、ハンデ差2のほぼガチンコ対決を島和男.com選手がフルセットの末勝利し、悲願の千里シリーズ初制覇となった。 【構成：藤原聡】



2017 WBF Championship “Senri-Series”

●予選ラウンド

ジョー・タカミ選手、初のファイナル進出！

今シーズン最終戦の大熱戦から早くも1ヶ月が経過したフタバボウル。早めに会場入りして練習投球に励む選手、ベンチに座り呼吸を整え集中を高める選手、島和男.com選手への挑戦権、ファイナルステージ進出へたった一枚の切符をめぐって、歴戦の勇士が舞台に上がった。

まず第1ゲーム、事前に会場入りして2ゲーム投げ込んでいたはずの杉原、田中、藤原の3選手が序盤伸び悩む中、ただ一人練習ゲームを行わなかったジョー・タカミ選手が2フレから怒涛の5連続ストライクで会場を沸かせる。今季開幕戦第3ゲーム、4連続ストライクで1着をかつさった爆発力が、ライバル達にとって最も出て欲しくない場面で飛び出し、そのままハンデ込み225点(素点196)と、ジョー・タカミ選手今季一番のスコアで挑戦者争いに名乗りを上げた。

今季ハンデ込みで225点を越えるスコアの出したのは、ファイナルステージで待つ島和男.com選手(第4戦:203⇒230)と杉原陽一選手(第5戦:245⇒234)しかおらず、フタバボウルに詰め掛けた観客からは「もうジョーでいいじゃん」という声も聞こえた。しかしここまでシーズンを戦い抜いてきたWBF戦士としての矜持は、そんなヤジに負けることなくひたすらに前方約18m先のピンを倒すことに集中していく。

そんな第2ゲーム、杉原・田中両選手はハンデ差があり、序盤からストライクを重ねないと追いつけないのだが、あと1、2本が倒れず、徐々に引き離されていく。そして藤原選手は6連続スペアからのダブルで迎えた第9フレーム、ここでターキーを出して10フレに繋がば大逆転！ ということろまでたどり着くも、今季最終戦でも見せた勝負弱さが発揮されあえなくミス。

この結果ジョー・タカミ選手が千里シリーズファイナルラウンド初出場を勝ち取り、島和男.com選手との5番勝負に挑むこととなった。

千里シリーズはここ5年連続で、予選ラウンドを勝ち上がった選手がその勢いのままファイナルラウンドを制しているが、果たしてジョー・タカミ選手はそれに続くのか、はたまた島和

予選ラウンド結果

選手名	Gm	得点	1 F	2 F	3 F	4 F	5 F	6 F	7 F	8 F	9 F	10F
ジョー・タカミ	1	196>>225	6	-	*	*	*	*	*	5 2 9 / 7 -	*	* 7
杉原陽一	1	191>>180	9 /	*	9 /	s8 /	*	9 /	9 /	8 -	*	* 9 -
田中宏典	1	145>>151	8 /	9 -	9 /	7 -	9 /	9 /	s7 2 9	*	9 -	-
藤原 聡	1	101>>136	*	4 2 7 1 3 6 1 8 7 2 s8 1 8 / 9 - 7 -								
藤原 聡	2	171>>206	7 /	7 /	9 /	8 /	8 /	6 /	*	*	6 1 9	3
田中宏典	2	189>>195	8 1 9 /	*	*	*	*	8 /	8 /	*	9 /	s7 -
杉原陽一	2	181>>170	*	9 -	7 /	7 /	9 /	*	9 /	9 -	*	* 9 /
ジョー・タカミ	2	132>>161	9 -	7 2 8 -	3 /	7 -	8 /	7 1 9 -	*	*	8 /	-

※ジョー・タカミ選手がファイナルラウンド進出

2017 WBF Championship "Senri-Series"

●ファイナルラウンド第1戦

ジョー・タカミ、中盤から追い上げて緒戦奪取！

第1フレームで島和男.com選手がスペア、ジョー・タカミ選手がストライクと千里シリーズにふさわしい好スタートを切ったが、その後は互いにスコアメイクに苦しむ展開となり、そんな中でもジョー・タカミ選手が5フレからの4連続スペアで辛抱強く得点を重ねて終盤に逆転、緒戦をものにした。

	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	
島和男.com	..◎..				...○				○... ○	 ○	27
			◎.. .. .	◎.. ○.. .	... ◎.. .	○.. .. .		○.. .. .	○.. .. .	○.. .. .	166
	9 / 20	×	9 / 58	8 1 67	s8 1 76	9 - 85	×	9 - 104	s8 - 113	×	8 - 121
ハンデ込み 得点差⇒		↑ 12	↑ 23	↑ 23	↑ 13	↑ 3	↑ 3	↓ 8	↓ 19	↓ 10	0勝 1勝
ジョー・タカミ	×	8 -	s6 1	9 -	7 /	9 /	9 /	9 /	×	8 1	HD C P 競技点
	18	26 ○.. ○.. .. .	33 ○..◎ ○.. .. .	42 ...○	61 ◎.. ◎.. ◎.. ◎	80 ◎.. .. .	99 ◎.. .. .	119 ◎..	138	147 ○.. ◎	176

●ファイナルラウンド第2戦

島和男.com接戦を制しタイに持ち込む

互いにレーンコンディションを掴みかねているのか、なかなかマークが続かない第2戦、島和男.com選手は7フレからのスピア、スピア、ストライクで突き放すも10フレで痛恨のスプリット！

逆にジョー・タカミ選手は10フレ3投目ストライクを取れば一気に王手をかけられたのだが、無常にも残る2番と9番…。1勝1敗で次にどちらが先に王手をかけるのか。

	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	
島和男.com					◎....	○....		...◎		○....	
	..◎	...	..○	...	..○	...	..◎	...	...	..○	...
	◎	..	○	..	◎○	..	..	..	..	..	..
	○	.	◎	.	◎	.	.	.	.	.	.
	7 2	×	7 1	×	5 3	9 -	9 /	9 /	×	s8 -	27
	9	27	36	53	61	70	89	109	127	135	162
ハンデ込み 得点差⇒	↓12	↓3	↓11	↓10	↓11	↓20	↓9	↑2	↑11	↑1	1勝 HDCP 1勝 競技点
ジョー・タカミ	×	3 6	7 /	6 /	7 2	×	7 1	9 -	7 2	7 /	8 29
	19	28	44	61	70	88	96	105	114	132	161
		..◎◎		◎◎..				○....			..○
	..	..○◎	◎◎.	◎	..◎	...	..◎	...	◎..		..
	..	◎◎	◎	◎	◎	..	○	..	◎		○
	.	◎	.	◎	○	.	○	.	○		.

[2017 WBF Championship "Senri-Series"]

●ファイナルラウンド第3戦

島和男.com怒涛の200upで連勝！

ジョー・タカミ選手は予選から数えて5ゲーム目の疲れか13番レーンでミスが重なり、14番レーンのマークを生かせずスコアが伸び悩む。逆に島和男.com選手は調子が出てきたのか7フレからのターキーで一気に突き放し、ハンデ込み214点の高スコアをたたき出して2勝目、千里シリーズ制覇まであと1勝とした。

	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	
島和男.com	 ●●● ●● ●	 ●● ●● ●●	 ●● ●● ●●	 ●●● ●● ●●	○●● ○●○ ●● ●	 ●● ●● ●●	 ●● ●● ●●	 ●● ●● ●●	 ●● ●● ●●	 ●● ●● ●●	
	9 / 18	8 / 38	× 58	9 / 75	57 - 82	8 / 102	× 132	× 159	× 178	7 2 187	27 214
ハンデ込み 得点差⇒	↑6	↑18	↑25	↑34	↑22	↑33	↑46	↑66	↑65	↑55	2勝 1勝 HD CP 競技点
ジョー・タカミ	9 / 10	G 8 18	9 / 31	3 5 39	× 58	9 - 67	× 84	2 5 91	9 / 111	× 130	9 - 159
	●●● ●● ●● ●	●●●○ ●●●○ ●●○ ●	●●● ●●● ●● ●	●●●● ●●●● ●●● ○	●●● ●● ●● ●	●●● ●● ●● ●	●●● ●● ●● ●	●●●○ ●●● ●● ○	●●● ●● ●● ●	●●● ●● ●● ●	●●○ ●● ●● ●



熱戦の合間に血圧を測る島和男.com選手と、それを撮る杉原陽一選手。歴史を重ねてきたWBF戦士には、今まで以上に自分の体調と向かい合う時間が必要なのだ。

[2011 WBF Championship "Senri-Series"]

●ファイナルラウンド第4戦

ジョー・タカミ混戦を制し決着は最終戦へ！

一気に勝負を決めたい島和男.com選手と、喰らい付きたいジョー・タカミ選手。互いの意地がぶつかりあう第4戦、僅かなスコア差のまま最終盤までもつれ込み、ハンデ込み5ピン差の接戦を制したのはジョー・タカミ選手。島和男.com選手は9フレのミスが痛すぎた。

	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	
島和男.com			...○			...○	...○		○...		
	...	...	○..	..◎	...	..○	○..	..◎	...	...	
	..	..	..	..◎	..	..	..	..◎	..	..	
	.	.	.	◎	.	◎	.	.	.	.	
	×	×	s8 -	7 /	×	6 1	s7 -	8 /	9 -	×	7 2
	28	46	54	74	91	98	105	124	133	152	27
ハンデ込み 得点差⇒	↑6	↑4	↓6	↑6	↑3	↓7	↓8	↓7	↓6	↓5	2勝 2勝
ジョー・タカミ	×	5 /	×	7 1	×	9 /	7 1	×	8 -	8 /	8
	20	40	58	66	86	103	111	129	137	155	29
		..◎◎		..◎..					..○..		
	...	...	...	...	...	..◎	..◎	...	...	...	
	..	..◎	..	..○	..	..	..○	..	○..	...	
	.	◎	.	○	.	.	○	.	.	○	

●ファイナルラウンド第5戦

島和男.com200upおかわりで激戦を制す！

泣いても笑ってもこれで最後の第5戦、島和男.com選手は最後の力を振り絞り7フレまでで3スペア4ストライクと猛チャージを見せ、逃げ切りを図る。ジョー・タカミ選手はこれで今日通算7ゲーム目と体力の限界が近いのか1投目がヘッドピンに当たらない。終盤島和男.com選手が連続ミスでもたつく間にジョー・タカミ選手がダブルで勝機を掴もうとするも後一歩及ばず島和男.com選手が3勝目を上げ、3度目の千里シリーズ挑戦で初の栄冠に輝いた。

	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	
島和男.com								◎○..	...◎		
	◎◎	...	◎..	...	..◎	...	...	◎◎	○..◎	...	
	◎◎	..	..	..	..	..	..	◎	..	..○	
	◎	.	.	.	.	.	.	.	.	○	
	5 /	×	9 /	×	9 /	×	×	5 4	s7 2	9 /	8
	20	40	60	80	100	125	144	153	162	180	27
ハンデ込み 得点差⇒	↑11	↑11	↑11	↑13	↑24	↑41	↑53	↑33	↑23	↑32	3勝 2勝
ジョー・タカミ	6 1	5 /	×	8 /	s8 1	5 3	s7 -	×	×	9 -	29
	7	27	47	65	74	82	89	118	137	146	175
	..◎..	..◎◎			◎...		...○				
	..○	..◎	...	..◎	..	..◎◎	○..○	...	...	...	
	..○	..◎	..	..	○	○◎	..	..	..	..○	
	○	◎	.	◎	.	○	.	.	.	.	

激闘を終えて…

島和男.com 3(●○○●○)2 ジョー・タカミ



惜しくも敗退したジョー・タカミ選手

まさか自分が千里シリーズ本戦に進むとは思ってなくて…何かすいません。(笑) 試合は真面目にやりましたが、やはり年長者の経験が上回ったと言いますか…。言うても二人ともアラフィフなんですけどね。1日で7ゲームも投げた今日の戦いを、来期以降に生かしていければと思います。ありがとうございました。

優勝した 島和男.com選手

長年WBFで戦ってきて、ようやく手にできたトロフィーの重さが大変心地いい。ボウリングを通じて、仲間を切磋琢磨したり、妻と出会えたり色々なことがあったけど、今日のこの勝利が一番嬉しい。これからもボウリング道に精進していきますので、応援よろしくお願いします。

千里シリーズ過去の戦績

※1	1989	松本誠司	4(○○○●○)	1	松本昌士
	1990	奥山満夫	4(●●●○○○○)	3	下永義久
	1991	松本誠司	4(○○●○○)	1	島裕二
	1992	松本誠司	4(○○○○)	0	島裕二
	1993	松本誠司	4(○○○○)	0	田中寿美子
	1994	松本誠司	4(●○●○○○)	2	島和男
	1995	白木建太郎	4(●○○○○)	1	田中久
	1996	野村正明	4(○○●●△○○●○)	3	松本誠司
	1997	杉原陽一	4(○○○○)	0	松本香代
	1998	松本誠司	4(○●○○○○)	2	白木建太郎
	1999	松本誠司	4(○○○○)	0	杉原陽一
	2000	白木建太郎	4(○○○○)	0	岩田修一
	2001	杉原陽一	4(○●●○○○○)	3	ロバート・K
	2002	白木建太郎	4(●●○○○○●○)	3	松本誠司
※2	2003	松本昌士	3(○●○○)	1	◆松本誠司
	2004	◆白木建太郎	3(○●●○△○)	2	松本昌士
	2005	松本昌士	3(○○○)	0	◆白木建太郎
	2006	岩田修一	3(●●○○○)	2	◆松本誠司
	2007	◆杉原陽一	3(○●○○●○)	2	奥山満夫
	2008	奥山満夫	3(○●○○)	1	◆島和男.com
	2009	◆杉原陽一	3(●○○○)	1	奥山満夫
	2010	白木建太郎	3(○○●○)	1	◆杉原陽一
	2011	◆松本誠司	3(○○○)	0	藤原聡
	2012	馬場毅	3(●○●○○)	2	◆白木建太郎
	2013	杉原陽一	3(○●○○○)	2	◆馬場毅
	2014	杉原陽一	3(○○●○)	1	◆馬場毅
	2015	城戸秀行	3(○○○)	0	◆白木建太郎
	2016	杉原陽一	3(●○○○)	1	◆松本誠司
	2017	◆島和男.com	3(●○○●○)	2	ジョー・タカミ

※1 島裕二が前後期制覇をしているため、総合優勝は島裕二と記録。
特別企画の「千里G1クライマックス」として開催。

※2 2003年以降、千里シリーズの実施方式が変更。3勝先取で優勝。
◆はレギュラーシーズン優勝